

## <資料> 4か年の進捗状況(平成21年度～平成24年度)



横浜みどりアップ計画（新規・拡充施策）の、平成21年度から平成24年度までの実績を一覧表にまとめます。

### (1) 樹林地を守る



【事業・取組の凡例】 ●：新規事業（横浜みどり税充当） ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）  
◇：新規事業等（横浜みどり税非充当） ・：事業費のないもの

※4か年事業費（見込）：平成21年度・22年度・23年度の決算額と、平成24年度の決算見込額（平成25年4月末現在）の合計値

施策方針/事業・取組		4か年事業費（見込）※ [百万円]		5か年目標	4か年の進捗状況 （平成21年度～平成24年度）
		総額	横浜みどり税充当額		
<b>継続保有の促進</b>					
1	・緑地保全制度等の拡充	-	(-)	・制度運用	・制度等の拡充： 制度検討、制度運用
2	・篤志の奨励制度	-	(-)	・制度運用	・制度検討・運用：制度運用
<b>維持管理推進</b>					
3	◎緑地再生等管理事業	1,503	(961)	・対象面積：1,299ha ・危険斜面整備：5箇所	・市民の森等の管理：568.8ha ・樹林地維持管理助成：267件 ・危険斜面整備：22箇所
4	◎市民協働による緑地維持管理事業	53	(49)	・推進	・保安全管理計画策定： 策定14箇所 策定中1箇所
5	●森づくりリーダー等育成事業	10	(10)	・森づくりボランティア：250人 ・森づくりリーダー：25人 ・はまレンジャー：25人	・森づくりボランティア：164人 ・森づくりリーダー：39人 ・はまレンジャー：20人
6	●樹林地管理団体活動助成事業	21	(21)	・愛護団体活動支援：延べ250団体 ・森づくりボランティア活動支援：延べ195団体	・愛護団体支援：115団体 ・森づくりボランティア支援：109団体

資料 4か年の進捗状況(平成21年度～平成24年度)

<資料> 4か年の進捗状況(平成21年度～平成24年度)

施策方針/事業・取組		4か年事業費(見込)※ [百万円]		5か年目標	4か年の進捗状況 (平成21年度～平成24年度)
		総額	横浜 みどり税充 当額		
<b>利活用促進</b>					
7	●森の楽しみづくり事業	117	(117)	・景観の森・生き物の森事業：25ha ・森の中のプレイパーク事業：5箇所 ・森の収穫物体験事業：延べ20回 ・里山ライフ体験事業：延べ20回 ・健康の森事業：90回 ・横浜の森の自然・生き物情報発信事業：推進 ・間伐材活用クラフト作成事業：推進 ・森の恵み塾事業：3拠点で実施	・景観の森・生き物の森：19.4ha ・森の中のプレイパーク：28箇所 ・森の収穫物体験：34回 ・里山ライフ体験：23回 ・健康の森：57回 ・自然・生き物情報発信：13地域 ・間伐材活用クラフト作成：44回 ・森の恵み塾：231回
8	●みどりの夢かなえます事業	17	(17)	・15件	・提案実施の支援：14件
9	◎間伐材資源循環事業	29	(25)	・推進	・チップ化作業支援：131回 ・チップ化安全研修：7回 ・間伐材活用製品の作成
10	◇愛護会、森づくりボランティア活動拠点整備事業	47	(-)	・5箇所	・活動拠点整備：整備3か所 設計2か所
11	◇ウェルカムセンター整備事業	69	(-)	・5箇所	・ウェルカムセンター整備：整備2か所 設計2か所
<b>確実な担保</b>					
12	◎特別緑地保全地区指定等拡充事業	28,912	(3,654)	・指定面積：1,119ha (買取計画面積：151ha)	・樹林地の指定：417.5ha ・買取り対応：105.9ha
13	・よこはま協働の森基金制度の見直し	-	(-)	・制度運用	・制度の見直し：制度運用
14	・国への制度要望	-	(-)	・推進	・国への制度要望：推進

<資料> 4か年の進捗状況(平成21年度～平成24年度)

(2) 農地を守る 

【事業・取組の凡例】 ●：新規事業（横浜みどり税充当） ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）  
 ◇：新規事業等（横浜みどり税非充当） ・：事業費のないもの

※4か年事業費（見込）：平成21年度・22年度・23年度の決算額と、平成24年度の決算見込額（平成25年4月末現在）の合計値

施策方針/事業・取組		4か年事業費（見込）※ [百万円]		5か年目標	4か年の進捗状況 (平成21年度～平成24年度)
		総額	横浜みどり税充当額		
<b>継続保有の促進</b>					
15	・生産緑地制度の活用	-	(-)	・制度運用	・生産緑地指定： 18,076㎡
16	●農園付公園整備事業	91	(73)	・35箇所、7.5ha	・農園付公園整備： 借地1箇所 設計5箇所(2.4ha) 整備1箇所(0.1ha)
17	◇特定農業用施設保全事業（農業用施設用地に対する固定資産税等の軽減）	3	(-)	・制度運用	・特定農業用施設保全契約： 102件(約1.52ha)
<b>農業振興</b>					
18	◇共同直売所の設置支援事業	49	(-)	・2箇所	・共同直売所設置支援： 16箇所
19	●収穫体験農園の開設支援事業	121	(121)	・23ha	・収穫体験農園整備： 15.7ha
20	●食と農との連携事業	8	(8)	(15件)	・地産地消の連携の取組： 13件
21	◇施設の省エネルギー化推進事業	200	(-)	・120棟	・省エネ施設整備助成： 162棟
22	◇生産用機械のリース方式による導入事業	120	(-)	・100件	・機械の導入補助：73件
<b>農地保全</b>					
23	◇集团的農地の維持管理奨励事業	95	(-)	・500ha	・農地保全団体支援： 645.9ha
24	●水田保全契約奨励事業	124	(124)	・50ha	・水田保全：114.4ha
25	◇かんがい施設整備事業	65	(-)	・7地区	・かんがい施設整備：7地区
26	●不法投棄対策事業	58	(58)	・不法投棄監視警報装置：10地区 等	・監視警報装置：13地区 ・夜間警備委託：120地区 ・住民パトロール・清掃支援：72地区
27	●環境配慮型施設整備事業	164	164	・農薬飛散防止ネット設置：32ha	・農薬飛散防止ネット：19.3ha ・牧草による環境対策等：50地区 ・その他施設整備：20件

資料 4か年の進捗状況(平成21年度～平成24年度)

<資料> 4か年の進捗状況(平成21年度～平成24年度)

施策方針/事業・取組		4か年事業費 (見込)※ [百万円]		5か年目標	4か年の進捗状況 (平成21年度～平成24年度)
		総額	横浜 みどり税 充当額		
<b>担い手育成</b>					
28	◇機械作業受託組織育成事業	39	(-)	・3地区	・受託組織育成：支援2地区
29	◇担い手コーディネーター育成・派遣事業	6	(-)	・延べ10組織	・市民農園コーディネーター： 研修8回 登録16法人 ・援農コーディネーター 協定締結：2組織
30	◇農業後継者・横浜型担い手育成事業	122	(-)	・担い手支援：100件等	・経営改善支援：209件 ・農業後継者育成：11件
31	●農地貸付促進事業	31	(31)	・70ha	・長期貸付農地：49.1ha
<b>確実な担保</b>					
32	●市民農園用地取得事業	1,423	(131)	・8ha	・市民農園用地取得： 事業推進中5.2ha うち用地取得1.8ha
33	●農地流動化促進事業	21	(21)	・20ha	・新規の農地貸借：26.6ha
34	・国への制度要望	-	(-)	・推進	・推進

資料4 4か年の進捗状況(平成21年度～平成24年度)

### (3) 緑をつくる

【事業・取組の凡例】 ●：新規事業（横浜みどり税充当）      ◎：拡充事業（横浜みどり税一部充当）  
 ◇：新規事業等（横浜みどり税非充当）      ・：事業費のないもの

※4か年事業費（見込）：平成21年度・22年度・23年度の決算額と、平成24年度の決算見込額（平成25年4月末現在）の合計値

施策方針/事業・取組		4か年事業費（見込）※ [百万円]		5か年目標	4か年の進捗状況 (平成21年度～平成24年度)
		総額	横浜みどり税 充当額		
緑化推進					
35	◎地域緑のまちづくり事業	646	(493)	・地域緑化計画策定事業 ：30地区 ・地域緑化推進事業：18地区	・地域緑化計画策定の取組： 15地区 ・地域緑化の推進：11地区
36	◎民有地緑化助成事業	104	(55)	・園庭芝生化：100園 等	・保育園・幼稚園園庭芝生化： 44園 ・区民花壇：18箇所 ・生垣設置：58m ・屋上・壁面緑化助成：52件 ・名木古木の保存： 新規165本 助成147本 ・人生記念樹等配布： 67,821本
37	◇公共施設緑化事業	845	(-)	・10ha	・公共施設の緑化：8.5ha (うち 公立保育園の園庭芝生化 ：延べ40園 公立小中学校の校庭芝生化 ：延べ39校)
38	◇公共施設緑化管理事業	327	(-)	・延べ615ha	・公共施設の植栽地管理 ：延べ85.3ha
39	◎いきいき街路樹事業	666	(666)	・3年に1回程度	・街路樹のせん定： 50,426本
40	・民有地緑化の誘導等	-	(-)	・推進	・緑化の誘導：制度運用
41	・建築物緑化保全契約の締結（建築物の敷地に対する固定資産税等の軽減）	-	(-)	・制度運用	・緑化保全契約締結 ：57.0ha
42	◇みどりアップ広報事業	12	(-)	(推進)	・計画の目的、内容及び推進状況を実感していただけるよう、多様な手段で広報活動を推進

資料 4か年の進捗状況(平成21年度～平成24年度)

## (4) 横浜みどり税による成果

### ア 樹林地を守る施策



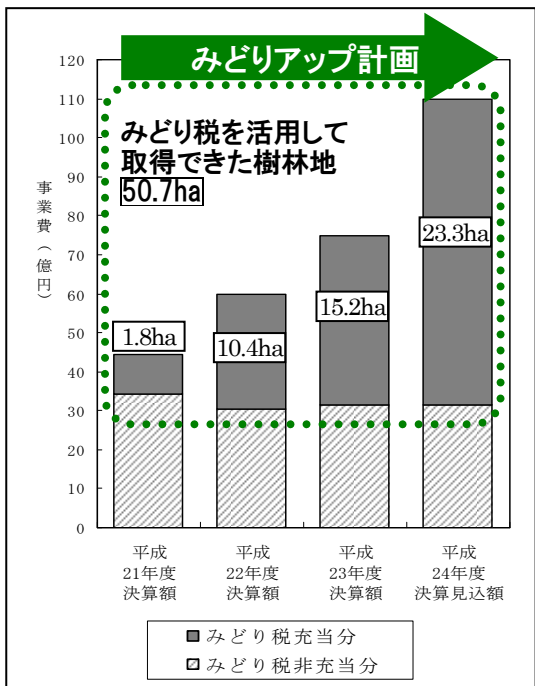
#### 【主な事業による成果】

##### 指定・買取による樹林地の保全

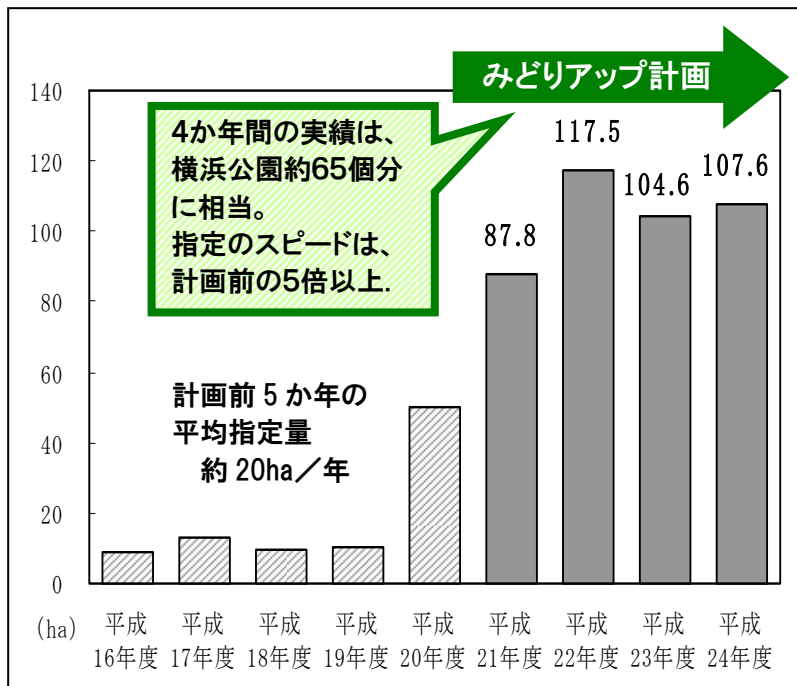
4か年事業費：289億円    みどり税非充当事業 127億円  
 みどり税充当事業 162億円  
 [内 みどり税 37億円]

- みどり税を活用することで、指定地での買取希望に対して確実に対応し、取得面積を計画以前より増やすことができた
- 不測の事態による買取希望などに対応してもらえる安心感から、樹林地の指定推進が大幅に進んだ
- 指定・買取が大幅に進んだことなどにより、樹林地の減少傾向が鈍化した

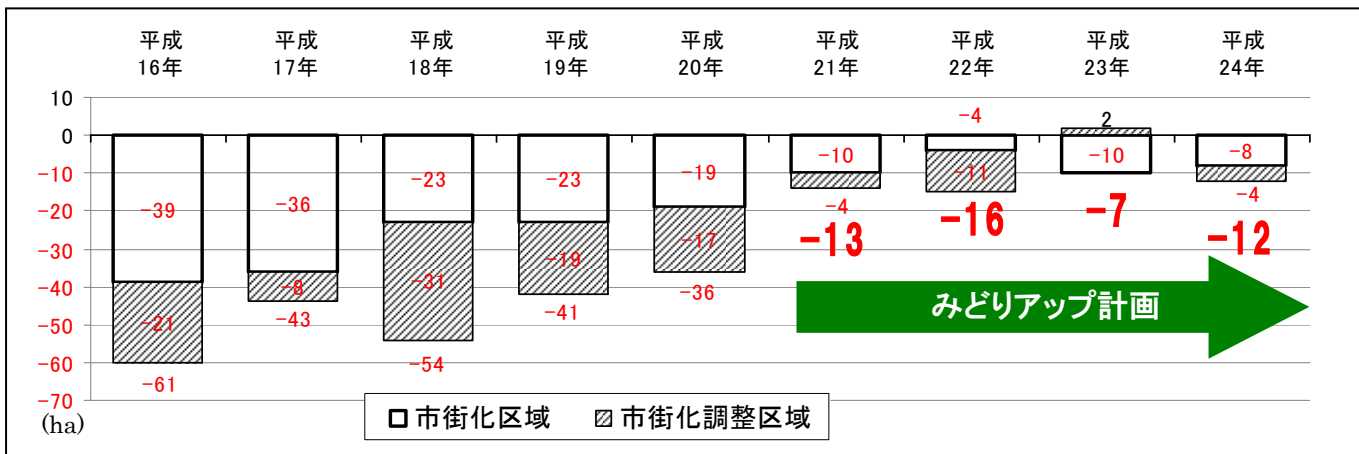
〈資料〉 4か年の進捗状況(平成21年度～平成24年度)



[図] 樹林地取得の事業費の推移



[図] 緑地保全制度による年度ごとの新規指定面積の推移



[図] 課税地目山林面積の推移 (※固定資産概要調書等をもとに集計)

### 【みどり税により新たに取り組んだ事業の成果】

みどり税を安定的な財源として活用することで、新たな事業に積極的に取り組み、成果を上げることができた。

3	市民の森等の管理	みどり税充当額	8億6,900万円
	多様な動植物が生息する健全な森とするため、市民の森等の間伐や下草刈りなどの管理を実施した 市民の森等を市民が安全に活用できるよう、危険斜面の整備などの管理を実施した	市民の森等の管理：572.4ha 危険斜面の整備：22か所	
	民有樹林地の維持管理の助成	みどり税充当額	9,300万円
	樹林地所有者が保有し続ける課題の一つである、維持管理の負担軽減のため、緑地保全制度に指定している民有樹林地の維持管理の助成を進めた	維持管理の助成：267件	
4	市民協働による緑地の維持管理	みどり税充当額	4,900万円
	多様な動植物が生息する健全な森とするため、市民の森等で、樹林地の将来像や維持管理の考え方を定める「保全管理計画」を市民協働で策定した	保全管理計画の策定：14か所	
5	森づくりリーダー等の育成	みどり税充当額	1,000万円
	森の維持管理を市民との協働により進めるため、「森づくりリーダー」など、森に関わる人材育成を進めた	森づくりボランティア：164人 森づくりリーダー：39人 はまレンジャー：20人	
6	樹林地管理団体の活動助成	みどり税充当額	2,100万円
	森づくり活動を行っている団体に対して、積極的な森づくり活動を支援するための助成や、道具の貸出などの支援を行った	愛護団体・森づくりボランティアの支援：224団体	
7	森の楽しみづくり事業	みどり税充当額	1億1,600万円
	樹林地の魅力や保全の意義を啓発・PRするため、楽しみながら保全活動に関心を持つきっかけとなるような、さまざまな体験型講座を実施した	森林教室の開催：231回 (約1万7千名参加)ほか	
8	みどりの夢かなえます事業	みどり税充当額	1,700万円
	市民団体から、樹林地の保全と利活用の提案を募集し、優れた提案の実施を支援することで、市民協働による樹林地の保全を推進した	提案に対する実施支援：14件	
9	間伐材のチップ化支援	みどり税充当額	2,400万円
	樹林地の維持管理で生じた間伐材の活用を図るため、森づくり団体に対して、間伐材のチップ化作業の支援を行った	間伐材のチップ化作業支援：131回	

※みどり税充当額は21年度から23年度決算額、24年度決算見込み額の4か年の合計・百万円未満は四捨五入

＜資料＞ 4か年の進捗状況(平成21年度～平成24年度)

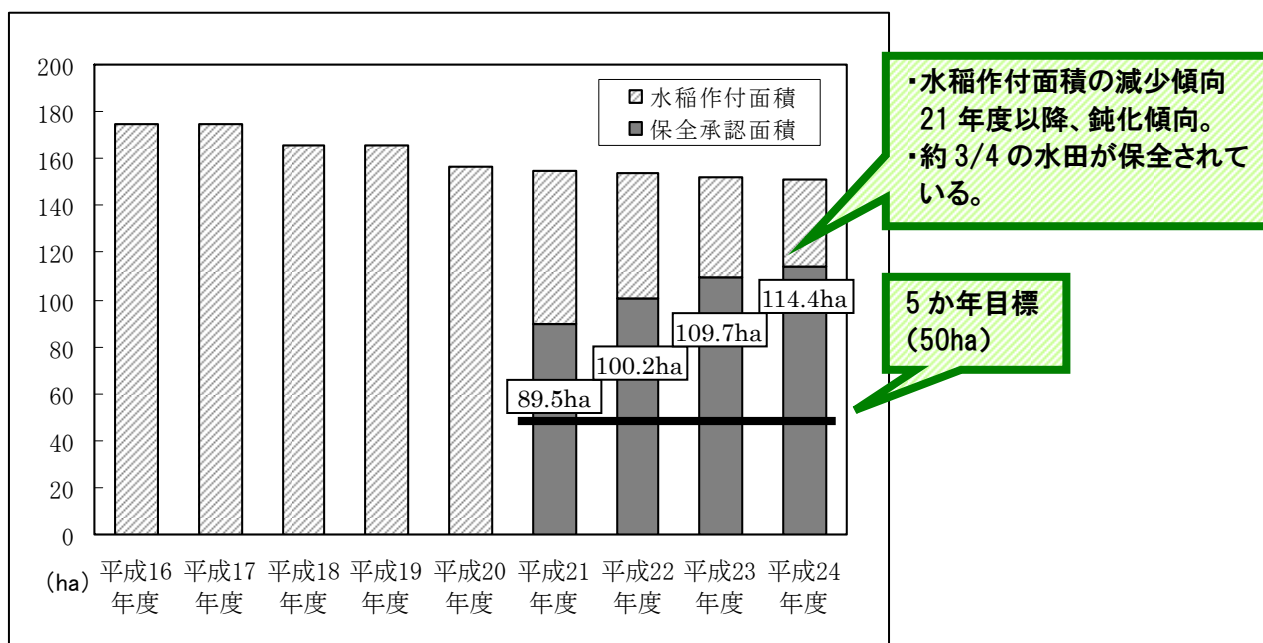
## イ 農地を守る施策



### 【主な事業による成果】

#### 水田の保全 (4か年事業費：1億2,400万円[うちみどり税：1億2,400万円])

- 水田は、優れた田園景観を構成するだけでなく、洪水防止や気象緩和などの重要な役割を担っている
- 農地としての収益性が低いことから、畑への転換や荒廃地化することが多く、年々減少している
- 一定期間、水田として継続することを条件に、みどり税を活用した支援を行うことで、約114ha・市域の水田の約4分の3を保全することができた



【図】 水稲作付面積と保全承認面積の推移



【写真】 身近な水田の風景(港北区)



【写真】 秋の風景(戸塚区)



**【みどり税により新たに取り組んだ事業の成果】**

みどり税を安定的な財源として活用することで、新たな事業に積極的に取り組み、成果を上げることができた。

16 ・ 32	農園付公園の整備	みどり税充当額	2億 400万円
	農地や里山景観を保全し、市民の農体験の機会を増やす農園付公園について、用地取得や設計・施設整備を進めた	事業推進中：5.2ha 設計：5か所 整備：1か所	
19	収穫体験農園の開設支援	みどり税充当額	1億2,100万円
	身近なところで地産地消を実感できるよう、果物のもぎ取りや野菜の収穫などを体験することができる果樹園や農園の整備に対し支援を行った	収穫体験農園の整備に対する助成：15.7ha	
20	食と農との連携事業	みどり税充当額	800万円
	農家と市民・企業、様々な人や団体が連携した新たな地産地消の取組として、「食と農の祭典」をはじめとする様々な取組を展開した	様々な団体・企業等が連携した、新たな地産地消の取組：13件	
26	農地への不法投棄対策	みどり税充当額	5,800万円
	不法投棄が多発している農業専用地区などに、監視警報装置の設置や夜間監視パトロールを行うとともに、地域団体の清掃活動等を支援した	監視警報装置の設置：13地区 夜間パトロール：120地区 清掃活動等の支援：72地区	
27	周辺環境に配慮した施設整備の支援	みどり税充当額	1億6,400万円
	住宅に近接した農地等で、農業に伴って生じる臭気、農薬飛散など、周辺住民とのトラブルを避けるために必要な機械等の導入を支援した	農薬飛散防止ネット：19.3ha 牧草による環境対策等：50地区 ほか	
31	農地の長期貸付への誘導	みどり税充当額	3,100万円
	農地の貸し手に奨励金を交付することで、農地貸借の期間を長期化し、借り手農家が長期的な経営計画の下、安定した経営ができるよう誘導した	6年以上の長期貸付を開始した農地：49.1ha	
33	農地の流動化の促進	みどり税充当額	2,100万円
	優良な農地を規模拡大農家や新規参入者に利用集積するため、農地所有者から市が農地を借り入れ、貸付先を探すなど農地の流動化を促進した	新規の農地貸借：26.6ha	

※みどり税充当額は21年度から23年度決算額、24年度決算見込み額の4か年の合計・百万円未満は四捨五入

資料4か年の進捗状況(平成21年度～平成24年度)

## ウ 緑をつくる施策



### 【主な事業による成果】

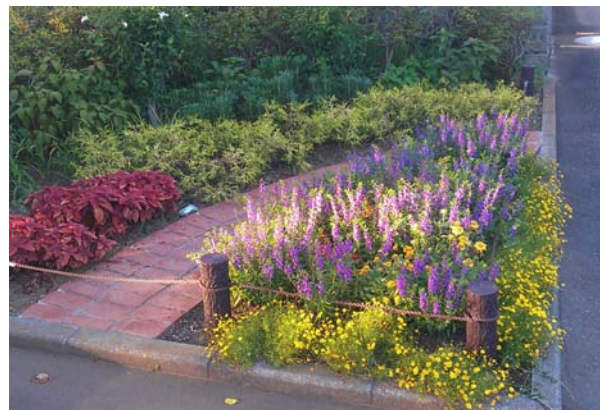
#### 地域ぐるみでの緑のまちづくり

(4か年事業費：6億4,600万円[うちみどり税：4億9,300万円])

- 地域の皆さまと横浜市が協力し、地域ぐるみで緑化計画を策定するとともに、策定された計画に基づき、地域にふさわしい緑化を推進した
- 15地区において、地域にふさわしい緑化計画を策定した
- 11地区において、計画に基づき民有地と公共施設の緑化を進め、その中で、緑が不足している都心区では、緑化用地の取得など新たな取組を進めた



【写真】地域で取り組む緑化作業の様子  
(旭区/上白根国際地区)



【写真】地域の玄関口を彩る花壇の整備  
(旭区/上白根国際地区)

<資料> 4か年の進捗状況(平成21年度～平成24年度)

### 【みどり税により新たに取り組んだ事業の成果】

みどり税を安定的な財源として活用することで、新たな事業に積極的に取り組み、成果を上げることができた。

36	保育園・幼稚園の園庭芝生化	みどり税充当額	1,900万円
	民間の保育園・幼稚園の園庭の芝生化に対して支援し、こどもが親しむことのできる緑を増やすことができた	園庭の芝生化：44施設	
	名木古木の維持管理に対する助成	みどり税充当額	1,000万円
	樹齢が概ね100年を超える樹木や、故事・来歴のある樹木を名木古木として指定・保存するとともに、指定した樹木のせん定等の管理に助成金を交付し、樹木所有者の負担を軽減した	新規の指定：165本 維持管理の助成：147本	
39	街路樹の適正な維持管理	みどり税充当額	6億6,600万円
	街路樹を良好に生育させ、美しく豊かな緑を提供するとともに、安全で円滑な通行を確保するため、せん定頻度を引き上げ、適正な維持管理を行った	街路樹の剪定：延べ50,426本 (街路樹：約13万本)	

※みどり税充当額は21年度から23年度決算額、24年度決算見込み額の4か年の合計・百万円未満は四捨五入





---

平成 25 年 6 月発行

横浜市環境創造局みどりアップ推進課

横浜市中区港町 1-1 電話 045-671-2712 / FAX 045-224-6627